

立憲民主党代表らの伊勢神宮参拝に抗議します

立憲民主党代表 枝野幸男殿

今年の1月4日、立憲民主党の枝野幸男代表を始めとして、福山哲郎幹事長、蓮舫副代表らは、昨年につきそって伊勢神宮を訪問し、外宮、内宮の順に参拝した。私たち「政教分離の侵害を監視する全国会議」が昨年末に、同神宮への参拝を行わないように要請文を送ったにも拘らず、貴党が日本国憲法第20条3項の政教分離原則の違反行為を今年も繰り返したことに對し、私たちは強く抗議するものである。

常日ごろ安倍政権の憲法違反行為を批判し、立憲主義を標榜している立憲民主党の代表らが自ら、憲法の大原則である政教分離原則を顧みず、現政権と同じように伊勢神宮の参拝を行ったことは重大な問題である。

伊勢神宮は戦前まで、靖国神社と共に国家神道を支えた中心的な存在であり、皇室の祖先とされる天照大神を祀っている神社で、全国に8万という各地の神社の中央組織、神社本庁の「本宗」に位置している。同神宮への参拝を政党代表として繰り返すことは、同神宮との特別な関わり合いを表すものであり、首相や閣僚の参拝同様に、憲法20条3項、89条に違反する行為である。

私たち「政教分離の侵害を監視する全国会議」は、この事態を憂い、公務員たる国会議員による政党の公的活動が憲法に則って行われることを求め、同神宮への参拝に抗議するものである。

2020年1月24日

政教分離の侵害を監視する全国会議

代表幹事 木村庸五、古賀正義

事務局長 星出卓也